

ISSN 0910-9919

*BULLETIN OF SOCIAL MEDICINE*

# 社会医学研究

第 52 回日本社会医学会総会  
講演集

日本社会医学会                      特別号    2011

JAPANESE SOCIETY FOR SOCIAL MEDICINE

富山大学五福キャンパス

TOYAMA UNIVERSITY GOFUKU CAMPUS

# 第 52 回日本社会医学会総会

## 「地域における暮らし、仕事、健康 と社会医学」

2011 年 7 月 23 日（土）～24 日（日）

富山大学五福キャンパス

主催

第 52 回日本社会医学会総会企画運営委員会

事務局（富山大学・金沢医科大学）

（企画運営委員長 寺西秀豊）



## ご挨拶

このたび第 52 回日本社会医学会総会を富山で開催することとなりました。日本社会医学会は、1960 年に創設された社会医学研究会（社医研）の伝統を受け継ぎ、1999 年に「日本社会医学会」として発展、改称された学会です。日本は世界でも有数の長寿国、健康大国に成長しましたが、少子高齢化社会をむかえ、現在も多くの国民は暮らし、仕事、健康に困難な課題を抱えています。今年 3 月には東日本大震災にみまわれ、死者、行方不明者は 2 万人を超え、被災者だけではなく、日本国民全体が大きな打撃をうけました。日本社会医学会は健康や疾病に影響を与える社会・経済的要因等に関して現実に即して長年研究し、多くの成果を上げて参りました。日本社会医学会は、国民の健康や生活に生じる問題と社会との関わりを解明し、社会的な予防対策等を自由闊達に議論する場となっています。日本社会医学会会員は医療関係者だけでなく福祉や教育関係者等を含めて構成されており、学際的研究も活発に行われています。年一回の総会と、地方例会や機関誌「社会医学研究」の発行を通じて、国民の健康問題解明に取り組んでいます。

第 52 回日本社会医学会総会は、「地域における暮らし、仕事、健康と社会医学」をメインテーマに開催されますが、富山という地域性を踏まえながらも、国際性豊かな学会にしたいと考えております。特別講演では佐久総合病院副院長西垣先生に「地域健康管理」についてお話いただき、教育講演では市原あかね先生に「地域再生の展望」を語って頂きます。シンポジウム「社会の安全と人権」では事例に基づいて具体的に論議して頂きます。公開シンポジウムとして「イタイイタイ病の教訓と東アジアの環境問題」を取り上げ、市民公開講座として「原子力災害を考える」を企画しました。一般演題は多様な内容で、ミニシンポジウムを含め 60 演題を超えました。大震災と長期経済不況下の国民の健康問題を社会医学的観点から包括的にとらえ実践的な解決を展望する学会にしたいと考えております。会員の皆様には積極的なご参加と活発な討論をお願いします。富山は日本海と北アルプス等の山々に囲まれた自然の豊かな地域です。岩瀬浜エクスカッションや懇親会では歴史ある古い町並みや食文化を堪能して頂ければ幸いです。

今回は公開シンポジウム「イタイイタイ病の教訓と東アジアの環境問題」に関して富山大学、東アジアプロジェクト（東アジア共生学創成の学術的融合研究、CEAKS）のご協力が得られ、本学会と共同主催することとなりました。また本学会開催には富山県高等教育振興財団および富山市からは協賛を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。

2011 年 7 月 1 日

第 52 回日本社会医学会総会企画運営委員長  
寺西秀豊（富山大学大学院医学薬学研究部公衆衛生学）



## 第 52 回総会案内



# 富山大学への交通案内

## 富山までの交通案内

① 関西方面、東海方面から特急列車をご利用の場合

■ いずれの特急列車(サンダーバード、しらさぎ、はくたか)も富山駅に停車します。

② 関東甲信越方面から新幹線をご利用の場合

■ 「越後湯沢駅」で乗り換え、特急はくたか等で富山駅へお越してください。

③ 飛行機をご利用の場合

■ 富山空港から JR 富山駅までの連絡バス(約 25 分)があります。タクシーでは会場(富山大学五福キャンパス)直行で約 30 分です。

## 大学までの交通案内

■ いずれの方面からも富山駅からのアクセスをお知らせします。

### 【市内電車】

JR 富山駅から約 20 分 「大学前」下車すぐ

(注)市内電車は「2 系統」をご利用ください。「丸の内」から「国際会議場」方面へ行く「3 系統(環状線)」がありますのでご注意ください。

	7 月 23 日・24 日(休日)の「富山駅前」発ダイヤ(「大学前」下車)					
8 時	2 分	12 分	22 分	32 分	42 分	52 分
9 時	2 分	12 分	22 分	32 分	42 分	52 分
10 時	2 分	12 分	22 分	32 分	42 分	52 分
11 時	2 分	12 分	22 分	32 分	42 分	52 分
12 時	2 分	12 分	22 分	32 分	42 分	52 分

### 【バス】

JR 富山駅前(南口) 富山地鉄・路線バス「富山大学経由」(3 番乗り場)乗車約 20 分

「富山大学前」バス停下車すぐ

	7 月 23 日・24 日(休日)の「3 番乗り場」発ダイヤ(「富山大学前」下車)		
8 時	10 分	15 分	50 分
9 時	10 分	30 分	
10 時	00 分	30 分	40 分
11 時	00 分	30 分	
12 時	00 分	10 分	30 分

### 【タクシー】

JR 富山駅から約 15 分



# 会場のご案内

広域図（電車網など）・最寄駅から大学まで



**五福キャンパス Gofuku Campus**

〒930-8555 富山市五福3190  
3190 Gofuku, Toyama 930-8555

To Kanazawa 五念丸 | JR Hokuriku Line JR北陸本線 | JR Toyama Station 富山駅 | To Naoetsu 新湊江津

● 五福地区 Gofuku Area (Gofuku Station 五福駅)

● 寺町地区 Teramachi Area (Teramachi Station 寺町駅)

● 五福キャンパス Gofuku Campus

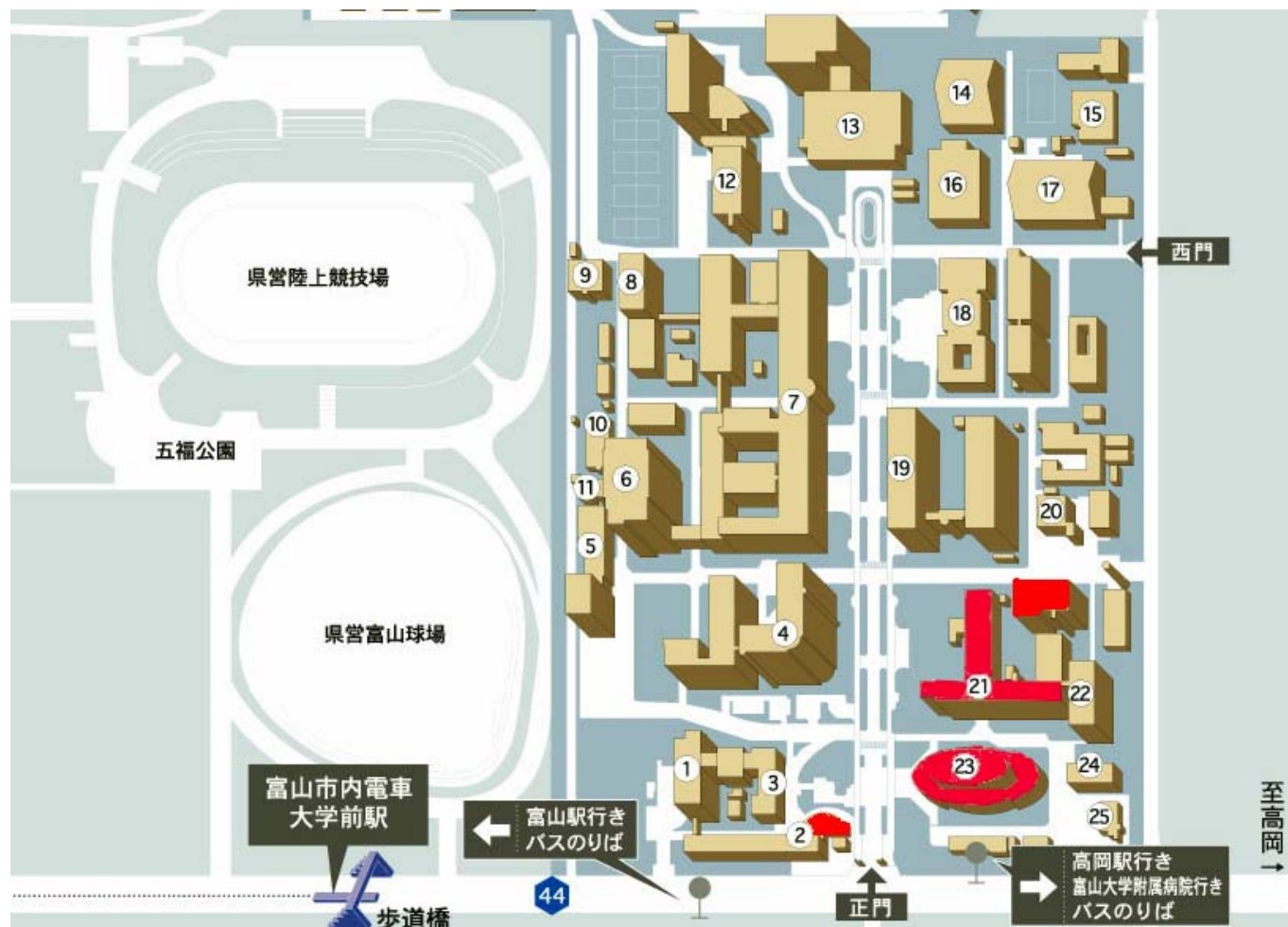
● バス By Bus  
JR富山駅から約20分  
About 20min. From JR Toyama Station

● 市内電車 By Tram  
JR富山駅から約20分  
About 20min. From JR Toyama Station

● タクシー By Taxi  
JR富山駅から約15分  
About 15min. From JR Toyama Station

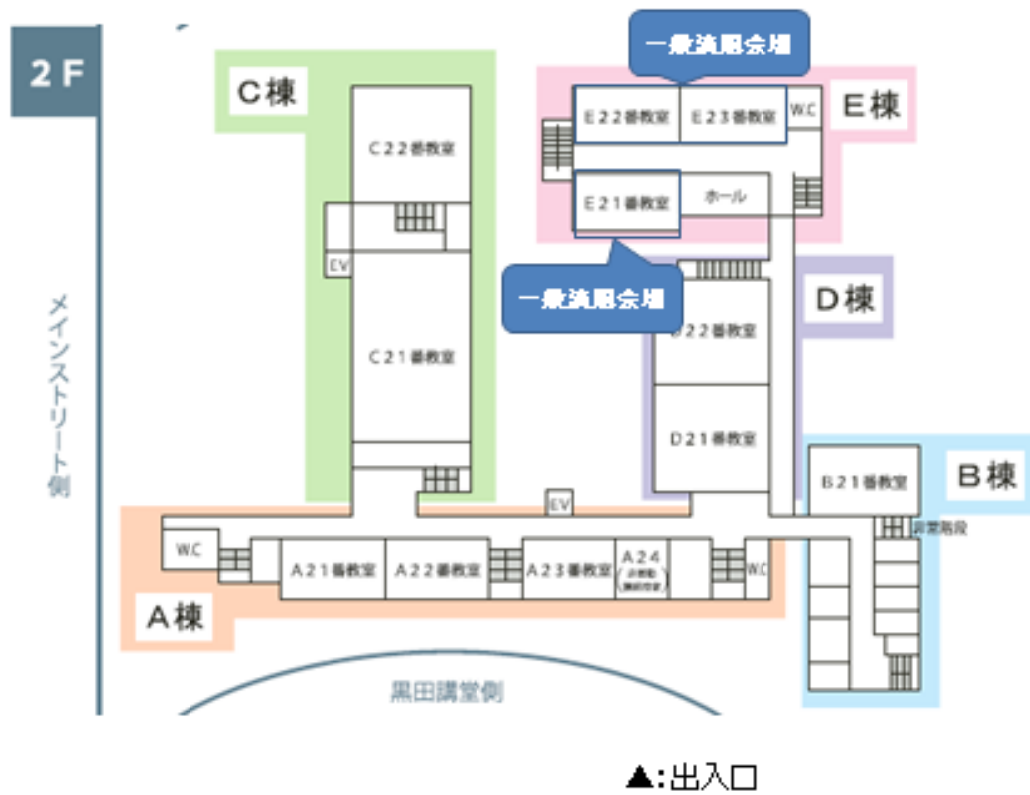
● 車 By Car  
北陸自動車道「富山西IC」から約10分  
About 10min. From Toyama-Nishi IC on Hokuriku Expressway

## 学内見取り図

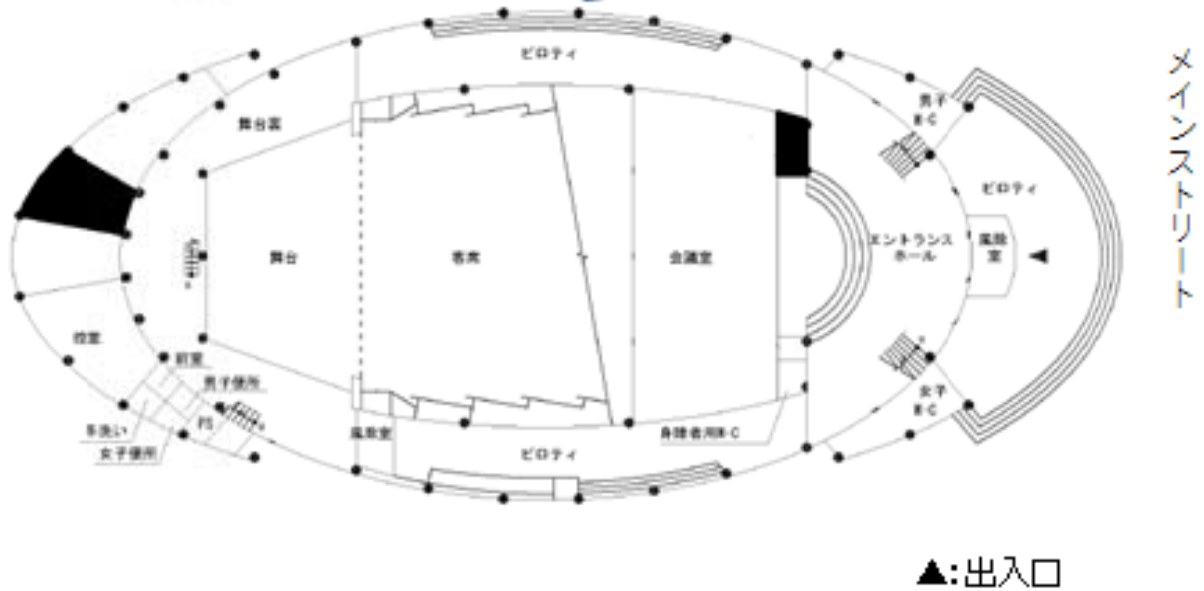


- (2) 富山大学生生活協同組合 AZAMI (懇親会会場)
- (19) 人間発達科学部第1校舎 (2F 大会議室：理事会、評議員会会場)
- (21) 共通教育棟 C 棟・E 棟 (シンポジウム・特別講演・一般演題)
- (23) 黒田講堂 (教育講演・公開シンポジウム)

会場建物案内図



教育講演、公開シンポジウム会場  
(市民公開講座会場)



• 理事会・評議員会会場

(人間発達科学部第1校舎2F: キャンパスマップ⑱)



メインストリート側

## 参加者へのご案内

### ◇ 受付場所

7月23日(土) 12:00～ 共通教育棟C棟1階(C11側) 出入口付近

7月24日(日) 8:30～ 共通教育棟E棟1階(事務局前) 出入口付近

受付方法：全ての参加者は「参加票」に必要事項を記入の上、参加費（お釣りの不要なようにお願いします）とともに受付をお願いします。

① 主発表者と座長の方は「主発表者・座長受付」にお越し下さい。

主発表者と座長の方は、次の「研究発表者と座長へのご案内」を参照してください。

② 会員、名誉会員の方は「会員受付」にお越し下さい。

名誉会員の方は参加費は必要ありません。

③ 報道関係者を含む非会員の方は「非会員受付」にお越し下さい。

### ◇ 参加費

会員：3000円 非会員：4000円 学生・院生：1000円

懇親会費：3000円 抄録集追加購入：1000円

### ◇ 年会費の納入と入会の手続き

年会費(5000円、学生会員2000円)の納入や新規の入会手続きは、上記の「受付」のいずれにても受け付けております。

### ◇ 車での来場と駐車場

総会会場に駐車場はご用意できませんので、公共交通機関をご利用下さい。

### ◇ 事務局では宿泊ホテルの紹介や斡旋は致しませんのでご了承下さい。

多くのホテルがあるエリア：富山駅の南北、大学最寄り駅まで15分～20分程度。

### ◇ 建物内に喫煙可能な場所はありません。

### ◇ その他

① 昼食(7月24日分)：23日(土)の学会参加受付時(13:00時まで)にお申込みいただければ、1000円(お茶付き)でご用意いたします。

② クローク：23日12時20分より、事務局(E11)で18:30までお預かりいたします。

③ 飲み物：キャンパス内大学食堂付近に自動販売機がございます。

④ 託児所：託児所はございませんので、ご了承ください。

## 研究発表者と座長へのご案内

### ☆ セッションの運営について

時間を厳守し、必ず定刻に終了するようにしてください。

### ☆ 発表される先生へ

- ① 受付時に、発表者であることをお申し出ください。
- ② 会場には液晶プロジェクターとスクリーンを用意しております。  
発表用の Microsoft Power Point 原稿は USB メモリをご用意ください。  
発表前までに、正しく動作することを受付横の PC で確認しておいてください。  
PC は Windows で、PowerPoint 2010 をインストールしてあります。Windows 以外の OS の場合は、ご自身で PC と変換プラグをご用意ください。なお、発表スライドは PowerPoint 2003 以降を用いて作成してください。
- ③ 発表者は発表前に必ず各会場の次演者席に着き、発表者であることを会場内の係にお申し出ください。
- ④ 一般演題は発表時間 15 分、質疑応答 5 分です。発表される方は必ず時間内に発表を終えて下さい。  
1 鈴：発表開始 13 分経過（残り 2 分）  
2 鈴：発表開始 15 分経過（発表終了）  
3 鈴：発表開始 20 分経過（質疑応答終了）
- ⑤ 配布資料がある場合には各自で 50 部程度ご用意の上、配布願います。
- ⑥ コンピュータの操作は発表者ご自身でお願いいたします。

### ☆ 座長の先生へ

- ① 受付時に、座長であることをお申し出ください。
- ② 定刻に座長席にご着席下さい。
- ③ セッションの運営は時間厳守とし、定刻に終了してください。一般演題では一演題あたり 20 分をあてております。円滑な運営をお願いいたします。

### ☆ ミニシンポジウムについて

7月23日(土)の16時から「薬害イレッサ事件の教訓と今後の課題」、7月24日(日)の14時10分から「労働者の問題を解決できる職場メンタルヘルス活動のあり方」と題するミニシンポジウムを、それぞれ約2時間開催します。たっぷり討論の時間をとってありますので、ぜひ参加され、積極的にご発言ください。



プログラム





プログラム

## I. 特別企画

### <市民公開講座>

#### 『原子力災害を考える』

7月23日(土) 13:00-14:30

富山大学黒田講堂ホール

「放射線と健康」

小橋 元 (放射線医学総合研究所・主任研究員)  
「原子核エネルギーの悪用・誤用と内部被曝の軽視」  
沢田昭二 (名古屋大学・名誉教授)

司会: 宮尾 克 (名古屋大学)

### <公開シンポジウム>

#### 『イタイイタイ病の教訓と東アジアの環境問題』

日本社会医学会・富山大学東アジア「共生」学創成プロジェクト合同企画

7月24日(日) 13:10-16:20

富山大学黒田講堂ホール

「イタイイタイ病の臨床と研究史」

寺西秀豊 (富山大学)

「カドミウム汚染地帯における腎障害と死亡率の関係」

中川秀昭 (金沢医科大学)

「イタイイタイ病裁判と公害防止協定等の意義」

松波淳一 (元イタイイタイ病弁護団)

「タイにおけるカドミウム汚染」

ウィタヤ (Witaya, S.) (タイ国メソト病院医師)

「東アジアの環境問題、課題と展望」

寺西俊一 (一橋大学)

司会: 佐藤幸男 (富山大学)

西条旨子 (金沢医科大学)

<総会シンポジウム>

7月23日(土) 12:40-14:30

共通教育棟C11

『社会の安全と人権』

「農業災害事故の実際と予防」

大浦栄次(富山県厚生連)

「無料低額診療事業の取り組みからみえる運動課題」

吉田晶子(富山協立病院)

「難病者の経験からみる『安全』および『人権』に関する複層的問題」

伊藤智樹(富山大学)

「薬物依存症と人権」

岩田雅彦(大阪大学)

司会:志賀文哉(富山大学)

<特別講演>

7月23日(土) 14:40-15:40

共通教育棟C11

『地域ぐるみの健康づくり』

西垣良夫(佐久総合病院)

座長:寺西秀豊(富山大学)

<教育講演>

7月24日(日) 11:10-12:10

黒田講堂

『過疎問題と地域再生:北陸過疎地域の現状と

再生可能エネルギーへの転換をもたらす再生可能性について』

市原あかね(金沢大学)

座長:山田裕一(金沢医科大学)

## II. 日程

23日(土)	黒田講堂	共通教育棟				
		C11	E12	E21	E22	E23
09:30-10:30		(理事会) 注				
10:30-11:30		(評議員会)				
12:30-12:40		開会挨拶・理事長挨拶				
12:40-13:00	市民公開講座 「原子力災害を考える」	総会シンポジウム 「社会の安全と人権」				
13:00-14:30						
14:40-15:40		特別講演 「地域ぐるみの健康づくり」 西垣良夫 (佐久病院)				
16:00-17:00			ミニシン ポ①	地域①	高齢①	メンタル①
17:00-18:20				地域②	高齢②	メンタル②
18:30-20:30	懇親会 (富山大学生協 AZAMI)					

注) 理事会、評議員会の会場は、人間発達科学部第1校舎2F「大会議室」です。

24日(日)	黒田講堂	共通教育棟				
		C11	E12	E21	E22	E23
09:00-10:00			労衛①	格差①	母子①	
10:00-11:00			労衛②	格差②	母子②	
11:10-12:10	教育講演 「過疎問題と地域再生」 市原あかね (金沢大学)					
12:10-13:00	総会/奨励賞表彰式 (黒田講堂)					
13:10-14:10	公開シンポジウム 「イタイイタイ病の教訓 と東アジアの環境問題」		職場メンタル	医療①	高齢③	
14:10-15:10			ミニシンポ②	医療②	その他①	
15:10-16:10					その他②	
16:20-16:30	閉会 (黒田講堂)					

Ⅲ. ミニシンポジウムおよび一般講演（第1日午後）

7月23日	共通教育棟（E12）	共通教育棟（E21）
16:00-17:00	<p>ミ ニ シ ン ポ ジ ウ ム</p> <p>司会：片平洸彦（新潟医療福祉大） P31 栗原敦（全国薬害被団連協）</p> <p>「薬害イレッサ事件の教訓と今後の課題」 薬害イレッサ訴訟における国と企業の責任－ 初期の情報と対応について 片平洸彦（新潟医療福祉大学大学院）</p> <p>薬害イレッサ事件をめぐる行政・業界・学会 の癒着の構造 ① 中島晃（京都・市民共同法律事務所）</p> <p>抗がん剤による死亡と医薬品副作用被害救済 制度 加藤幸（薬害イレッサ弁護団）、栗原敦（全 国薬害被害者団体連絡協議会）</p>	<p>地 域</p> <p>座長：波川京子（札幌医大） P50</p> <p>保 健</p> <p>① 加齢受容と充実健康感を支える社会関係性 の因果構造 高城智圭、貴志義孝、星旦二（首都大学東 京大学院・都市環境科学研究科）</p> <p>高齢者見守り組織発展過程における専門職 の役割 前原なおみ、津村智恵子（甲南女子大）</p> <p>特定保健指導に対する対象者の思い－ポジ ティブ・ネガティブの両側面について－ 竹末加奈（活水女子大学看護学部）、井上 和男（帝京大学医学部地域医療学）ほか</p>
17:00-18:20		<p>地 域 保 健</p> <p>座長：樋端規邦（健生石井病院） P56</p> <p>② 訪問看護ステーション設置主体別の業務委 託に関する意向調査 波川京子、岡田尚美、和泉比佐子、上田泉 （札幌医科大学）</p> <p>「公立病院改革ガイドライン」下での自治体 病院再編成に関わる保健医療福祉学的研究 －地域医療における自治体病院機能の再検 討－ 牧野忠康（日本福祉大学・社会福祉学部）</p> <p>インターネット上の医療情報に関するガイ ドラインの検討 上田麻絵、山路学、扇原淳（早稲田大学・ 人間科学）、三谷博明（日本インターネッ ト医療協議会）</p> <p>大阪市西成区北部地域での5年余ヵ月の実 践報告．社会医学研究における診療所の役割 と機能についての模索 黒川渡、白水倫生、富樫トモ子、大釜晴美、 藤田泰輔ほか（くろかわ診療所）</p>

Ⅲ. ミニシンポジウムおよび一般講演（第1日午後）

7月23日	共通教育棟（E22）		共通教育棟（E23）	
16:00-17:00	高 齢 ・ 障 害  ①	座長：埜田和史（滋賀医大） P64	メ ン タ ル ヘ ル ス  ①	座長：北岡和代（金沢医大） P78
		東京都A市在宅高齢者の認知症有病割合の推移：6年間の追跡調査より 山本千沙子（中京学院大学看護学部）、星旦二（首都大学東京都市環境学部）		大学生におけるCES-DとSOCとの関連性 澤目亜希、佐藤巖光、上原尚紘（北海道医療大学大学院・看護福祉研究科）、神原龍（道都大学社会福祉学部）ほか
		地域包括支援センターの円滑な支援に向けたネットワークのあり方 上村聡子、藤永新子、松浦尊麿（甲南女子大学看護リハビリテーション学部）		大学生における携帯電話依存とその関連因子についての検討 上原尚紘、澤目亜希、佐藤巖光、長谷川聡、志度晃一（北海道医療大学大学院・看護福祉研究科）
		高齢者の健康寿命を支える社会経済要因の因果構造 星旦二、高城智圭（首都大学東京都市環境学部）、中山直子（慶応大学看護学部）、湯浅資之（順天堂大学医学部）ほか		大学生の抑うつ症状と食習慣の関連 佐藤巖光、上原尚紘、澤目亜希（北海道医療大学大学院・看護福祉研究科）、池森康裕（北海道医療大学看護福祉学部）ほか
17:00-18:20	高 齢 ・ 障 害  ②	座長：仁平将（元青森八戸保健所） P70	メ ン タ ル ヘ ル ス  ③	座長：志渡晃一（北海道医療大） P84
		介護保険第1号被保険者による障害者福祉サービス上乗せ申請要因の分析－新宿区を事例として－ 加納三代（東京医科歯科大学大学院・博士課程）		ストレス対処力 Sense of Coherence (SOC) とその向上策は見えてきたか？－職場、学校、病と生きる人たちに於いて－ 山崎喜比古（パブリックヘルスリサーチセンター附属ストレス科学研究所）、横山由香里（東大）ほか
		障害者を支援するGPSケータイサイトの開発と検証 西田直子、山本容子、滝下幸栄、岩脇陽子（京都府立医科大学医学部看護学科）、鈴木ひとみ（神戸常盤大学保健科学部看護学科）		社会福祉法人施設における苦情解決第三者委員としての実践活動報告 北岡和代（金沢医大看護学部）
		茨城県5市町村における介護予防事業のアウトカム評価 栗盛須雅子（茨城キリスト教大学・看護）、福田吉治（山口大学・医学）、星旦二（首都大学東京大学院・都市環境科学）ほか		トゥレット症候群を有する青壮年者の健康関連QOLに関連する要因の検討 横山由香里（日本学術振興会、東京大学）、山崎喜比古（パブリックヘルスリサーチセンター附属ストレス科学研究所）
		介護老人福祉施設におけるノロウイルス対策を中心とした施設内研修の試み 大浦絢子（早稲田大学大学院・人間科学研究科）、山路学（早稲田大学・人間総合研究センター）ほか		精神障害者社会復帰施設におけるICT活用支援に関する評価 橋本颯子、北島謙吾（京府医大・看護）、山田京子（元京府医大・看護）、下村洋介（ジョイント・ほっと・就労B）

Ⅲ. ミニシンポジウムおよび一般講演（第2日午前）

7月24日	共通教育棟（E12）		共通教育棟（E21）	
09:00-10:00	労働衛生①	座長：森河裕子（金沢医大） P92 我が国の職業手話通訳者の労働と健康実態－20年間の推移 埜田和史、北原照代、辻村裕次（滋賀医大社会医学講座・衛生学）	格差・貧困①	座長：田村昭彦（九州社医研） P102 介護保険料滞納高齢者に関する経済・健康格差に関する研究 高橋和行（早稲田大学大学院公共経営研究科）、扇原淳（早稲田大学人間科学学術院）ほか
		教員の労働負担軽減対策とその効果 久永直見（愛知教育大学）		ホームレス者の健康支援を通じた社会的包摂の推進に関する研究（その2）－釜ヶ崎における19支援団体の聞き取り調査から－ 小椋芳子、大宮陽子、松田光恵（NPO HEALTH SUPPORT OSAKA）ほか
		救急患者搬送時における救急隊員の身体的負荷の状況および負荷軽減策 竹内郁登（千木病院）、中田実、栗岩和彦、栗原義宜、増田浩子、影近謙治、山田裕一（金沢医科大学）ほか		ホームレス者の健康支援を通じた社会的包摂の推進に関する研究（その3）－釜ヶ崎での被支援者への聞き取り調査から－ 鍛冶葉子（甲南女子大学）、小椋芳子（NPO HEALTH SUPPORT OSAKA）ほか
10:00-11:00	労働衛生②	座長：久永直見（愛知教育大） P98 小規模事業所の産業保健活動と従業員の健康レベルの関連 森河裕子（金沢医科大学看護学部）、田畑正司（石川県予防医学協会）、城戸照彦（金沢大学医薬保健学域）ほか	格差・貧困③	座長：逢坂隆子（四天王寺大） P108 ホームレス自立支援センター退所者の就労・生活状況に関する考察 加美嘉史（佛教大学社会福祉学部）
		日本の警察官採用における色覚要件に関わる変遷 高柳泰世（本郷眼科・神経内科）、宮尾克（名古屋大学）		ホームレス状態に陥った軽度知的障害者の療育手帳取得および就労支援について 中野加奈子（佛教大学大学院・社会福祉学研究科）
				深夜の繁華街における10代風俗産業従事女性に関する社会医学的調査 田中勤（中京大学大学院法学研究科法律学専攻）、古橋忠晃（名古屋大学医学系研究科精神健康医学）ほか



Ⅲ. ミニシンポジウムおよび一般講演（第2日午前）

7月24日	共通教育棟（E22）	
09:00-10:00	母子・学校保健①	座長：黒田研二（関西大） P114 妊娠期から産後1か月にかけての親性発達とその変化ー初めて親になる妻と夫の変化ー 落合富美江、山崎智里、頼経かをる、坪本他喜子、本多隆文、笹野京子（金沢医大看護学部・母性）
		訪問レスパイトの効果と課題ー医療的ケアが必要な子どもを介護している母親の変化ー 小村三千代（東医保大）、橋本佳美（佐久大）
		子どもたちの生活習慣と保護者の心がけとの関連 中山直子（慶應義塾大学看護医療学部）、高燕（中国浙江工商大学公共管理学院）、楊素雯、星旦二（首都大学東京）
10:00-11:00	母子・学校保健②	座長：落合富美江（金沢医大） P120 中華人民共和国における新婚検査と妊婦検査サービス利用との関連要因 高燕（中国浙江工商大学公衆管理学院）、中山直子（慶應義塾大学看護医療学部）、星旦二（首都大学東京・都市環境科学研究科）
		外国人女性の妊娠・出産・育児期における課題ー福岡県における事例を中心にしてー 逢坂由貴（九州大学21世紀プログラム課程）

Ⅲ. ミニシンポジウムおよび一般講演（第2日午後）

7月24日	共通教育棟（E12）		共通教育棟（E21）	
13:10-14:10	職 場 メ ン タ ル	座長：三戸秀樹（関西福祉科大） P114	医 療 保 障 ①	座長：高鳥毛敏雄（関西大） P130
		Job Stress and the Metabolic Syndrome ~Hokkaido Occupational Cohort Study~ 岡田栄作、吉岡英治、喜多歳子、森永幸子、 佐藤浩樹（北大・公衆衛生）、西條泰明（旭 川医大・健康科学）、岸玲子（北大・E.H.S）		米国の高齢者の健康状態とヘルスケアシス テムの実態 市原京子（金沢医科大衛生）
		北海道内の地域包括支援センターに勤務する 3職種の抑うつ症状とその関連要因 蒲原龍（道都大学社会福祉学部）、志度晃一 （北海道医療大学看護福祉学研究科）		障害者医療からみた医療的ケアの介護保険 等による法制化の問題点 杉本健郎、福本良之（すぎもとボーン・ク リニック）
	労働保険審査会での労基署不支給決定取り消 し裁決の3事例の紹介－制度上の問題点と取 組の教訓について－ 色部祐（働く者のいのちと健康を守る東京 センター）	社会経済的状態が糖尿病の血糖コントロー ルに与える影響の検討 伊藤浩一、木村良子（中野共立診療所）		
14:10-15:10	ミ ニ シ ン ポ ジ ウ ム ②	司会：山田裕一（金沢医大） P39 天笠崇（代々木病院）	医 療 保 障 ②	座長：筋也寸志（城北病院） P136
		「労働者の問題を解決できる職場メンタルヘ ルス活動のあり方」 いま職場のメンタルヘルス対策に欠けている もの－労働者の立場に立つこと 天笠崇（代々木病院精神科） 一事業場におけるストレス調査とその考察 石崎昌夫（金沢医科大衛生） ストレス対処力 Sense of Coherence (SOC) とその向上策を探る 山崎喜比古（パブリックヘルスリサーチセンター附属ストレス 科学研究所） リワークにより、職場復帰の成績向上が期待 できるか 登坂由香（金沢医科大衛生）		小児アレルギーと住居環境の関連 増成和平、星旦二（首都大学東京・都市環 境科学研究科） 低蔓延時代の結核医療の課題 高鳥毛敏雄（関西大学社会安全学部） 医薬品副作用被害救済制度を国民に定着さ せるために－患者の権利・医療の質と安全の 視点から－ 栗原敦（全国薬害被害者団体連絡協議会）
15:10-16:10				

### Ⅲ. ミニシンポジウムおよび一般講演（第2日午後）

7月24日	共通教育棟（E22）	
13:10-13:50	高 齢 ・ 障 害	座長：福地保馬（働くひと・北海道） P142 在宅人工呼吸器使用 ALS 患者の停電時におけるサバイバル課題 関谷栄子（白梅学園大学）、佐々木公一、佐々木節子（NPO 法人わの会）ほか
		③ スウェーデンから学ぶ高齢者の看取りケアに関連する制度－介護保健士教育制度と医療的ケアの関係の視点から－ 後藤真澄（中部学院大学）、間瀬敬子（日本福祉大学）
13:50-14:50	そ の 他 ①	座長：関谷栄子（白梅学園大） P146 外国人の社会保障と多文化ソーシャルワーク 志賀文哉（富山大学）
		スギ花粉症の社会的側面と問題解決への方向性の考察 寺西宏太郎
		棚田における農作業災害の実態－聞き取り調査から－ 広島大樹（滋賀医科大学医学部医学科生）、埴田和史、辻村裕次（滋賀医科大学医学部社会学講座衛生学）
14:50-15:50	そ の 他 ②	座長：服部真（城北病院） P152
		The Related Factors of Emerging and Reemerging Infectious Diseases in East and Southeast Asia. Suwen Yang, Tanji Hoshi, (Tokyo Metropolitan University), et al.
		医療訴訟における医師の説明責任 福本良之、杉本健郎（すぎもとボーン・クリニック）
		「戦争と医の倫理」の検証の現段階について 西山勝夫（滋賀医大・社会医学・衛生学）

